

第 20 回 全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ 報告書

1 開催日

令和元年（2019年）11月2日（土）

2 場所

横浜市立港中学校
（神奈川県横浜市中区山下町 241 ）

3 部門 <全 6 部門>

- ・生徒作品コンクール
- ・木工チャレンジコンテスト
- ・豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール
- ・あなたのためのおべんとうコンクール
- ・創造アイデアロボットコンテスト
- ・パソコン入力コンクール

4 参加者数

- ・大会当日の参加者数：442 名
- ・一般来場者数：173 名

<部門別詳細>

部 門	出場校 数	チーム数 (作品数)	出場人数
生徒作品コンクール（Ⅰ・Ⅱ合わせて）	42	114	114
木工チャレンジコンテスト	4	-	8
豊かな生活を創るアイデアバッグ	2	7	7
あなたのためのおべんとうコンクール	8	12	36
創造アイデアロボットコンテスト	28	52	156
パソコン入力コンクール	-	-	109
		合計	430

5 部門別の様子

①生徒作品コンクール

- I 部門（授業内製作作品）
技術分野・家庭分野ともに、総製作時間（設計・制作を含む）数の内、80%以上の時間が教科の授業中に創造製作した作品部門。
- II 部門（自主製作作品）
技術分野・家庭分野ともに、技術・家庭科で学習した知識や技術を生かして製作した創造作品で、総合的な学習の時間、長期休業や放課後の活動、休み時間等で製作したもの。

年々出展数が増えており、にぎわいをみせています。今年度は、I 部門 65 点（技術:25・家庭:40）、II 部門 49 点（技術:13・家庭:36）、合計 114 点が出品されました。多くの作品の中から、技術5点、家庭科5点の作品が、全国大会に出品されます。



②木工チャレンジコンテスト

規定課題の設計・構想図の審査を通過した選手が、本戦の競技に参加をしました。当日は、集成材2枚(厚さ15mm×幅200mm×高さ900mm)と合板1枚(厚さ4mm×幅450mm×高さ450mm)を使って、予選時に提出した設計図を基に、3時間30分で製作しました。終了後、製作した作品のプレゼンテーションを行いました。



③豊かな生活を創るアイデアバッグ部門

本年度は、2校7点の作品が出品されました。どの作品も、生活の中で利用する場面を想定し、アイデアを形にしています。

アイデア・工夫のみならず、縫製の細部にわたり審査されました。そのうち、2点を関東甲信越地区大会に推薦しました。審査会を通過し、全国大会に進むことを願っています。全国大会では、製作競技が実施されます。



④あなたのためのおべんとうコンクール

参加 30 チーム (89 名) より、レポート審査を通過した 12 チーム (36 名) が本選に参加しました。6 チームずつ午前と午後に分かれ、30 分の準備後、90 分でお弁当の調理を行いました。どのチームも協力し合い、今までの練習の成果を発揮し、手際よく調理を進めていました。

自分たちが想定した対象者「あなた」を想い、栄養のバランス・彩りなど、様々な工夫が見られました。プレゼンテーションも、しっかりと準備され、対象者への想いが伝わってきました。



⑤創造アイデアロボットコンテスト

昨年度と同様に「基礎部門」・「活用部門」・「応用部門」の3つの部門で行われ、出場数は、基礎部門 32 チーム、活用部門 14 チーム、応用部門 6 チームでした。昨年度から、それぞれの部門で若干のルール変更がありました。午前は予選リーグ、午後は決勝トーナメントが行われました。どの部門も日頃の製作活動や練習の成果を発揮し、手に汗握る白熱した戦いが繰り広げられました。



⑥パソコン入力コンクール

与えられた文章課題を5分以内にどれだけ早く、正確にタイピングができるかを競う競技になります。パソコン入力コンクールのみ、事前の申し込みは必要なく、当日参加できる競技になります。どの生徒も黙々とパソコンに向かい、文章の入力を行っていました。上位3名が全国大会に出場することができますが、27名の選手が、すでに全国大会への出場が決定しているため、神奈川大会からは、30名の選手が全国大会出場を決めました。



6 来場された方たちのご感想・ご意見等

【参加生徒より】

- 僕たちの学校は初参加で、他のチームに全然歯が立たなかった。でも、ボールを入れたときはすごくうれしかった。他のチームのロボットを参考に来年にいかして頑張りたい。
- 皆のロボットを見ていると、自分にはなかった発想があったのですごく面白かったです。
- いろいろなアイデアがあり、参考になりました。来年もキャタピラのまま、良いアームをつくらうと思いました。
- AコートとBコートの進行がずれていたら、もっとたくさん見ることができたので、バラバラでもよいと思った。
- 3位でしたが、試合を楽しく応援することができました。今度はもっと練習して、決勝まで進みたいです。
- 初めてのロボコンでした。どれも参考になる作品ばかりで、1年後のロボコンのイメージができました。
- この大会で多くのことを学ぶことができました。パンフレットの中の対戦表に時間を入れてほしかったです。
- みんな強かった。待ち時間が長かった。
- 練習をきちんとしていても、本番ではなかなか思い通りにいかなくて、大変だったけど、みんなで協力してロボットの調整をしたりして、団結力が深まったので良い思い出になりました。
- ロボコンはお兄ちゃんがやっていた見たことはあるのですが、おベコンは見たことがなかったので、競技終わるまで、とっても緊張しました。プレゼンが上手にできた！
- 自分の出場した競技と展示しか見れなかったけど、一生懸命がんばってよかったと思う。片付けが時間内にできなくてプレゼン後になってしまってくやしい。
- 私が思っていたお弁当コンクールよりも、とても大変でした。
- いつもの包丁ではなかったなので、やりにくかった。

- 今日はありがとうございました。楽しかったです。
- いつもよりスムーズに作ることができました。プレゼンも少しつまったところはあったけど、笑顔でできたので良かったです。
- おベコンに出るのは初めてで、「大会」というのも初めてでした。最初は緊張しましたが、だんだん落ち着いて取り組むことができました。
- 練習でやってきたことを本番で発揮できましたが、もっとできたなってところがあり、今日、新しい課題ができました。
- 木工チャレンジに参加して、緊張感のある中、一から作りあげるのが難しかったです。うまくいなくて悔しい部分もありますが、最後は笑顔で終わることができました。
- 木で何か作るとは前から好きで、それが大会としてできるのは楽しかった。けれど、練習のようにできるか不安で緊張した。自分の中でも上手につくれて良かったし、楽しかったです。
- 他人の作品を見て。どれもハイクオリティな作品で、実用的なものが多くてすごかったです。自分の作品を作って。精度は微妙でしたが、時間内に無事に終わらせることができてよかったです。
- 木工チャレンジに参加して、二回目の参加となる今回はさらに緊張しました。大勢の人が見ている中で作品を作ることの難しさを実感しました。
- 面白い工夫がされた作品が多くて、すごかった。
- お弁当コンクールに参加しました。他のチームの調理やプレゼンを見て、とても勉強になり、来てよかったと思いました。
- どの中学校のロボットも工夫されていてすごかったです。今回のロボコンで改善点も見つけ、来年に生かしたいです。
- 会場までの道がわかりにくかったです。一つ一つのロボットに個性があり、見ていて面白かったです。
- 今年はどのロボットもすごいアイデアでした。小回りが利くロボットで、動きをよくして操作を楽にすることが課題です。来年も得点を狙えるように工夫して参加したいです。
- 布絵本が発送豊かでよかった。学校で作りたくなった。お弁当コンクールのプレゼンの工夫が様々で、面白かった。いろいろな発見があってよかった。
- いろいろな作品があって参考になりました。とくに布絵本がかわいいなあと思いました。
- 私は初めてフェアに参加しました。他校の生徒の作品やプレゼンなどを見て、これからの自分たちの経験に活かせるものがあるなと思いました。
- タイピングでは普段使わないパソコンだったので、なかなかうまくできませんでしたが、楽しく過ごすことができました。
- 待ち時間などにパソコンのコンクールに参加できたのが良かった。

【引率教諭より】

- おべんとうコンクールではプレゼン会場が見やすくてありがたかったです。子どもたちもお互いの弁当を見合う時間があるとさらに充実すると思います。
- 作品展では「手を触れないで」の表示がなかったので、見学者は手に取ってみることも

でき大いに参考になりました。破損の心配があるのでは…。

- 作品の展示が見やすくよかった。
- お弁当コンクールの持ち込み用具棟には、学校ごとにシールを貼って持参するなど、事前の諸連絡、諸注意に明記しておくとういのではないのでしょうか。

【一般見学者・保護者より】

- 中学生がこんなに素晴らしいロボットを作り、間近で見ることができてよかったです。
- ロボコンの子どもの熱量に驚きました。あんなに熱中する姿、素晴らしいです。
- 中学生が素晴らしいお弁当が作れることに感動しました。それぞれのお弁当は色鮮やかでおいしそうでした。たくさんのことを経験して、これからの実生活にもぜひ役立ててほしいです。
- 中学生になるといろいろできて素晴らしい！
- 子どもたちが目を輝かせて取り組んでいてとてもすてきでした。ご指導くださっている先生方ありがとうございます。
- 今回 2 回目の見学ですが、とても見ごたえがあり、生徒の技術力にも感動しました。来年も楽しみにしております。
- 木工チャレンジ、とても良かったです。
- 学校名やチーム名の言い間違いが気になりました。次回は注意していただければと思います。
- 子どもがお弁当コンクールに出場できることになり、引率で来ました。初めてでしたが、このような貴重な機会を与えていただき大変に感謝しております。顧問の先生から運営に携わる方々のご苦労もうかがい、本日の開催に向けてご尽力くださった皆様方に心より御礼申し上げます。ものづくりはそのまま人づくりにつながるという新たな気づきがありました。製作された品々を拝見し、心が洗われました。部活動や塾など多忙な中学生の創作意欲に触れ、日本の未来に明るい展望が開けました。心新たに、陰ながら子どもたちを応援していこうという気持ちを強くしました。本当にありがとうございました。
- 親として、一生懸命取り組んでいる部活動の大会を見学できてうれしく思います。皆それぞれ違ったロボットで素敵でした。ありがとうございました。
- ロボコンを見学しました。一人参加のチームもあったようですが、同じ学校の生徒が声かけしたりと良かったです。
- ロボコンは熱かった！スポンサーをつけられるのではないのでしょうか。
- 中学生の頑張っている姿を見て。刺激を受けました。私もがんばります。
- 中学生とは思えない課題発見、課題解決能力の高さに驚きました。参加している生徒はもちろんのこと、指導している先生方の意識の高さが伝わってきました。
- 木工チャレンジでは、中学生の技量とは思えないほど素晴らしいものばかりで指導されている先生方の努力が伝わってきました。緊張しながら、あれだけ実力を発揮できる子どもたちのポテンシャルの高さや練習の成果が伝わりました。
- ロボコンでは、静かに見守る方が多い中、一分の方の大声で選手の動きにも戸惑いを感じました。応援のルールなども説明に入れていただければと平等に応援できると思います。

- 子どもたちが目的をもって一生懸命に製作、競技する姿がとてすてきでした。
- 「ものづくり」に興味がある子どもたちが増えるように祈ります。

7 上位大会のご案内

【関東甲信越地区大会 長野大会】

日時：令和元年12月1日（日）

場所：長野市立篠ノ井西中学校

〒388-8011 長野県長野市篠ノ井布施五明 380

部門：創造アイデアロボットコンテスト（競技）

豊かな生活を創るアイデアバッグ（審査）

【第20回 全国中学生創造ものづくり教育フェア】

日時：令和2年1月25日（土）・26日（日）

場所：足立区梅田地域学習センター（パソコン・体験セミナー）

足立区立梅島小学校（生徒作品・アイデアバッグ・木工）

足立区立第九中学校（ロボコン）

女子栄養大学駒込キャンパス（おべんとうコンクール）

東京芸術センター 天空劇場他（部門表彰・全体表彰）

8 次年度の神奈川大会の開催予定

【第21回 全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ】

日時：令和2年11月7日（土） ※実施予定日

場所：湘南工科大学 湘南工科大学附属高等学校

（JR東海道線 辻堂駅下車 徒歩15分）